

「チームのために自ら気づき、考え、動く！～どの子ども運動の楽しさを味わえるティーボール学習を目指して～」研究の概要

川崎市立小学校体育研究会 多摩支部 永井正人（宿河原小学校）

○昨年度の多摩支部のテーマについて

ゲーム ベースボール型ゲーム（中学年）

「チームのために自ら気づき、考え、動く！～どの子ども運動の楽しさを味わえるティーボール学習をめざして～」

児童の実態（中学年）は…

ルールを知らない。運動経験の差が激しい。（バットの取り扱い・小さなボールの操作）

△個人差がある

どの子ども得点をとる楽しさを味わわせたい

○昨年度の成果と課題

- ・どの子どもボールを遠くに飛ばし、得点する楽しさを十分に味わうことができた。
- ・攻撃に目を向けつつ勝つために必要なこととして、自然と守備の意識が生まれた。
- ・ただ、守備の意識は生まれたものの自分や仲間が捕球できるかどうかという不安から、ベースまで投げずに走ってアウトをとる姿が見られた。

高学年に向けて…

中学年で遠くにボールを飛ばして得点する楽しさを味わえば、高学年では、守備面の思考（守備隊形、中継プレー、カバーリングなど）がより生まれるのではないかな。

○今年度の多摩支部のテーマについて

高学年でのベースボール型ゲームの楽しさを味わうとともに、
どの子どもチームの勝利のために気づき、考え、活動させたい

〈多摩支部の研究テーマ〉

チームのために自ら気づき、考え、動く！
～どの子ども運動の楽しさを味わえるティーボール学習を目指して～

○支部でめざす子供の姿

どの子どもボールを打って得点し、守備の隊形を意識して守り、
友達と関わりながら自分が出来ることに気づきティーボールを楽しむ子

Anticipation（見通し・予測）
気づき・考える

○個人やチーム内での気づき

学習テーマ：チームが勝つためにはどうすればよいのだろう。

〈場や規則〉

Reflection（振り返り）
振り返り・気づき

〈言葉かけ〉

〈関わり〉

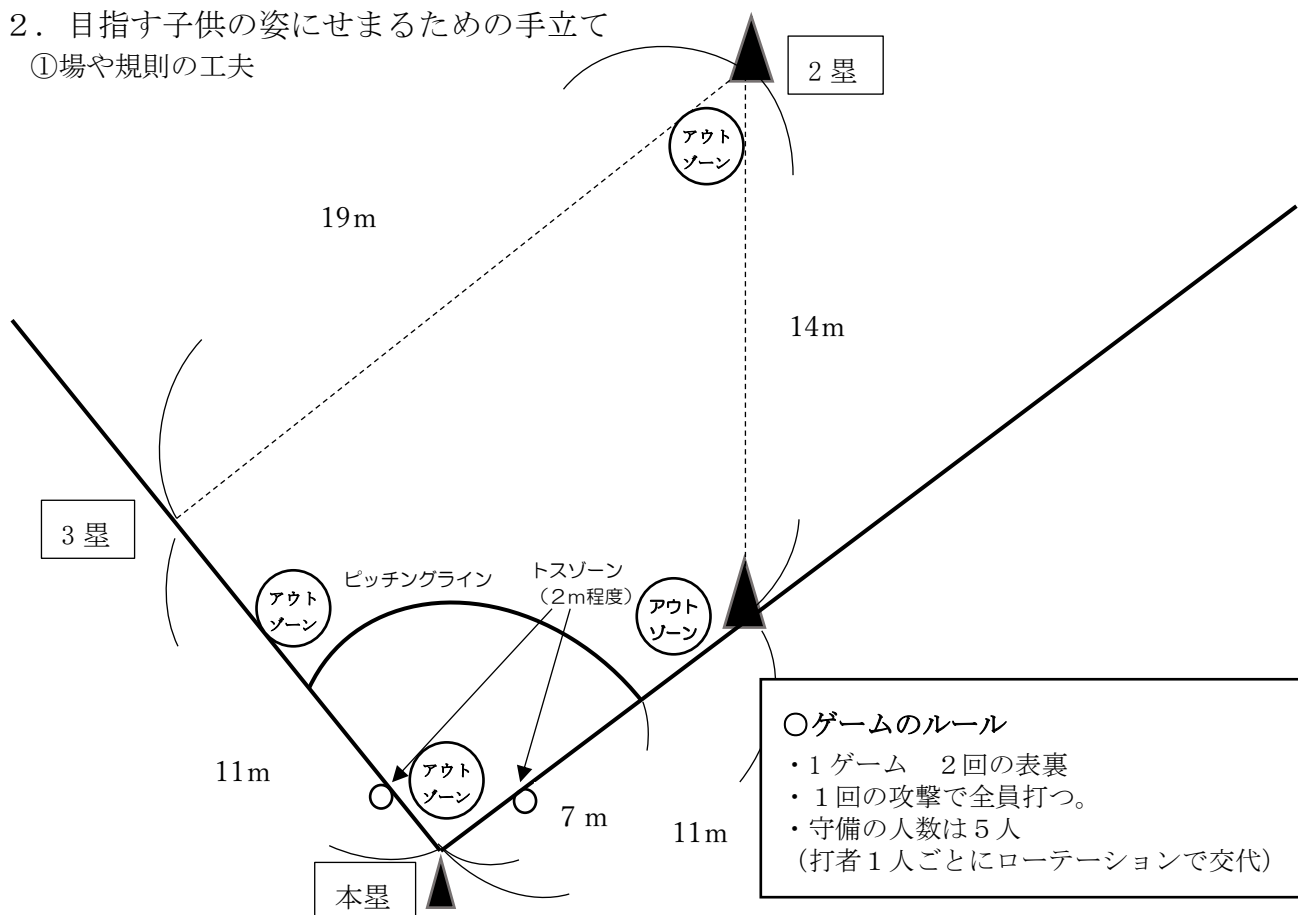
Action（行動）
活動する

○ゲーム中や活動後の振り返り

○ゲーム中の活動

2. 目指す子供の姿にせまるための手立て

①場や規則の工夫



○ゲームの流れ



- ・進塁したところまでの得点。残塁なし。
- ・3つの攻撃の形を選ぶ。(ティー、トス、ピッチング)
- ティー : 1 塁→1 点、2 塁→2 点、3 塁→3 点、本塁→4 点
- トス : 1 塁→2 点、2 塁→4 点、3 塁→6 点、本塁→8 点
- ピッチング : 1 塁→3 点、2 塁→6 点、3 塁→9 点、本塁→12 点

※ただし、トスとピッチングは3球まで。



- ・先回りアウト制…打球を捕ったら、打者が通過していない塁のアウトゾーンでアウトが取れる。
→打者はそれ以上進めない。塁のサークル内で捕球した子が「アウト」コールでアウト。
※走りこんでのアウトはなし。
- ・フライアウト制…フライをノーバウンドで捕ったらアウト→0 点



- ・ボールを打ったら塁のコーンにタッチする。
- ・先回りされたところには進塁できない。(例) 3 塁でアウトを取られたら 2 塁までの得点。

トス→投げやすい所から味方がやさしい投球。
ピッチング→ピッチングラインのところから味方が投球。

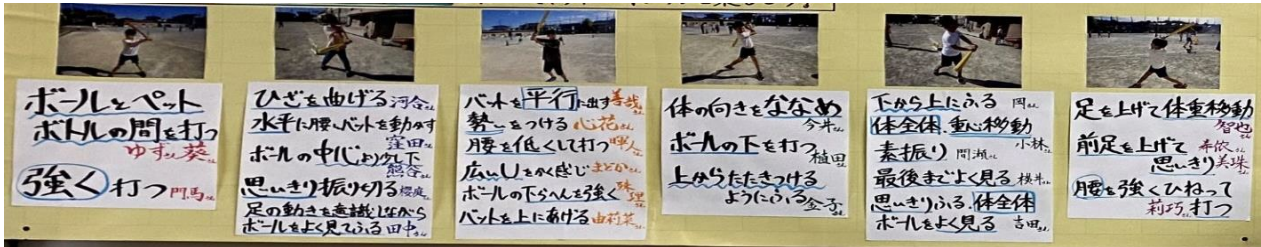
多摩支部が考えるトラペゾイドコートの有効性

- ・1 塁までの距離が短いため、誰もが得点できる。進塁するごとに得点に加算されるため、たくさん点をとる喜びを味わえる。
- ・ 2～3 塁間が広く空いているため、ヒットゾーンが広く打球が抜けやすい。
- ・ 2～3 塁間が長いため、守備側がどこでアウトを取るかを判断するための時間ができる。

②関わり

○教師と子供の関わり

- ・「打つ・投げる・捕る」といった基本的な技能の指導
- ・視覚化して全体に共有することで、自分に合った技能のポイントを見つけることができるようにする。



○道具と子供の関わり

- ・プールのスティックを打つことで、ボールを打つ時の感覚を短い時間で何度も味わうことができるようにする。



○子供同士の関わり（ティータイム）

- ・バッティング練習や、ボールキャッチの練習など、技能を高め合う時間にあてたり、それぞれのチームの打順、守備の仕方などの作戦について話し合ったりする時間にする。

③気づきを促す言葉かけ

○価値付けの言葉かけ

- ・単元前半では技能面中心の言葉かけから、単元後半では自分の役割を意識して考えたことを表現している姿を価値付けていく。

ナイスバッティング！「ねらって、引いて、打つ」ができているね。背中にバットが当たるくらい振り切るともっと遠くに飛ばすことができるよ！



ナイス中継プレー！どこの塁でアウトを取ればいいのかを声をかけ合いながら全員で動いて掴み取ったアウトだね！

○考える視点の明確化するための言葉かけ

- ・見通しをもって活動することができるようにするために、教師が思考を促す発問していく。

より得点をとるためにはどうしたらいいのかな？



打球が間を抜けて行ったらどう動けばいいの？

チームの作戦を成功させるために自分は何ができるかな？

○支援の言葉かけ

- ・ティーボールを苦手とする児童が運動の楽しさを十分に味わいながら、「できた」を実感するために技能のポイントを伝えていく。

アウトゾーンの手前でワンバウンドさせると苦手な子も捕りやすいよ！



「ねらって、引いて、打つ」を意識してバットを振ってみよう！

実践① 登戸小学校 6年生

◎誰もが思いきりバットを振り、自分にあった方法（ティー、トス、ピッチング）を選んだり挑戦したりして、得点することを楽しむ姿が見られた。	次は、ピッチングがやりたいと思いました。 そのためにもうたさんになげてもらいた いと思いましたが、そのリゆうは、うたさん かなげるとうちやすからたからです。 次の時間に考えていきたいこと・がんばりたいこと 次は(守)のともにもうちもしたい。(うた) 誰に投げてもらうかも大町で考えますね!
◎どうすれば相手の得点を防ぐことができるか、個人やチームで大切にしたい動きを考え、実践しようとする姿が見られた。	得点を防ぐには、ちゅうけいをすることが大切 だと思。た。お。じ。な。ら。ふ。つ。に。な。げ。る。よ。り。安 定してキャッチングできてアウトになって防ぐことが できるから大切だと思。た。あと、ホームのまんな へんでキャッチした時二るいになげると人じゃな くちゅうて近づいておけるキャッチやめるから 次の時間に考えていきたいこと・がんばりたいこと どうすれば多く得点をとれるかと考えたこと。 得点を防ぐことかて、キャッチする人 のことを考えてあげよう。みんなも大切だ と思。た。ボールを奪う相手のことも考え て、送球も大切にしようね!
◎チームの友達とゲーム前に話し合ったり、プレー後に振り返ったりすることを通して、チームの方針や自分の役割を考える姿が見られた。	ボールをとる時(す。ボールをとりにいくのも大切だ)か つ。た。人。が。ど。う。お。り。の。あ。た。り。に。い。る。か。を。考。え。る。と。う。ま。く。い くと思。い。ま。し。た。今日もボールをとりにいく人があ まり、い。というかんじで、う。た。人。これからとおろる の。人。が。う。こ。い。た。り。と。う。かん。じ。だ。た。の。で。自。分。か。う。ご。く。と。い う。こ。も。大。切。だ。け。ど。先。の。こ。と。を。考。え。た。り。い。ま。自。分。が。い。た。ら。の。こ。と。を 次の時間に考えていきたいこと・がんばりたいこと 考。え。る。こ。と。が。大。切。だ。と。かん。じ。ま。し。た。 今日の学習や、自分たちの力をしっかりといかすこと、どうしたら自分 や相手がいよいようまくなるといふ気持ちをわの、ポイントをは いてです。 状況に合わせてよく判断することが、 大切にしようね!

実践② 宿河原小学校 5年生

A児 【攻撃】 ○力いっぱい打ったり、ボールをミートして打ったりすることができる。 【守備】 ○投げたり捕球したりすることができる。 ▲自分で捕って自分で塁へ走ったり、味方が捕れないボールを投げたりしてしまっていた。	【攻撃】 ◎打ち方を味方にアドバイスしたり、打つ方向を考えて打撃したりすることができるようになった。 【守備】 ◎全体を把握して、どこに投げればいいのかコーティングしたり、カバーに入ったりする姿が見られるようになった。 ○味方が捕りやすいようにワンバウンドで投げたり下投げでなげたりする様子が見られた。
B児 【攻撃】 ▲止まっているボールに当てるのも難しい。 ○1塁まで全力で走り加点することで所属感を得ることができていた。 【守備】	【攻撃】 ○ボールをよく見て当てることができるようになった。 ▲動いているボールを打つ技能が高まりきらなかった。 2倍3倍のルールでの活躍が難しくなってしまった。 【守備】

▲何をすればいいかどう動けばいいかわからず、立ちつくすことが多かった。速いボールをキャッチするのが難しい。

◎打たれた瞬間にどこに向かえばいいのか何をすればいいのか判断することができ、先読みをして動くことができるようになった。

実践③ 中野島小学校 5年生

◎单元前半

ルールを理解
し、どうすれば
失点を最小に出
来るか？

点数をたくさん
取って相手に勝
つためにどうす
ればよいか？

9月11日(2) 四日
今日のめあて (今日は何をがんばって、何を身に付けたいのか?)

しゅじ"2"あいこの点を入せこ"2

学習の振り返り（今日の学習を振り返って、少しでも成長した

今日は、自分2~4点をしめしてやり
た。つかいかたは、2点と4点を、2点
うまく2点と4点と2点と4点と
2点はかたに2点ずつ、4点はふたつ
ように、したいです。

守備

9月10日(2)回目
今日のめあて (今日は何をがんばって、何を身に付けたいのか?)

トスにちうせんしよう

学習の振り返り (今日の学習を振り返って、少しでも成長したこと、気付いたこと)

今日は、オレンジチームと試合をしました。
1点差に勝った。日守さんごをまかせられて、
かつとき、ボールを取られて、負けしてしまっ
てくしくて泣いてしまいました。だから次
は、大反撃が毎試合いきてかんまうと思

攻撃

◎单元後半

- ・チームの作戦から自分が出来ることを考えて振り返りをしている。
- ・攻撃も守備も自分たちが出来ることを考え、勝つために必要なことを思考している。

9月25日(5) 回目
今日のめあて (今日は何をがんばって、何を身に付けたいのか?)

最後 トスビッチングズ勝つためにはどうすれば良い
のか？

学習の振り返り (今日の学習を振り返って、少しでも成長したこと、気付いたことは?)

今日は最後まで頑張ったこと	先生から
---------------	------

最大限にがんばりました。
最後の最後まで気付けたことは
体育では何も出来なかったことと
そのせいで僕にも生かすことができませんでした。

おめでとう!!!!

①あてを捕って帰っているね
②人数6000
③最後のあがきで力をつけたね
④動きを詳しく知っています!
⑤学習がつながっているね!

☐めあてを振り返っているね！
☐文量 GOOD！
☐次のめあてが見付かったね！
☐動きを詳しく書いてます！
☐学習がつながっているね！
すごい気付き!!!

9月18日(4) 曜日
今日のめあて (今日は何をがんばって、何を身に付けたいのか?)

試合に勝つために、先の事を考えてどこにボールを投げれば良いか、考えた
り、なるべくボールをすぐ取れる場所にいるのも意識して点をおさえる

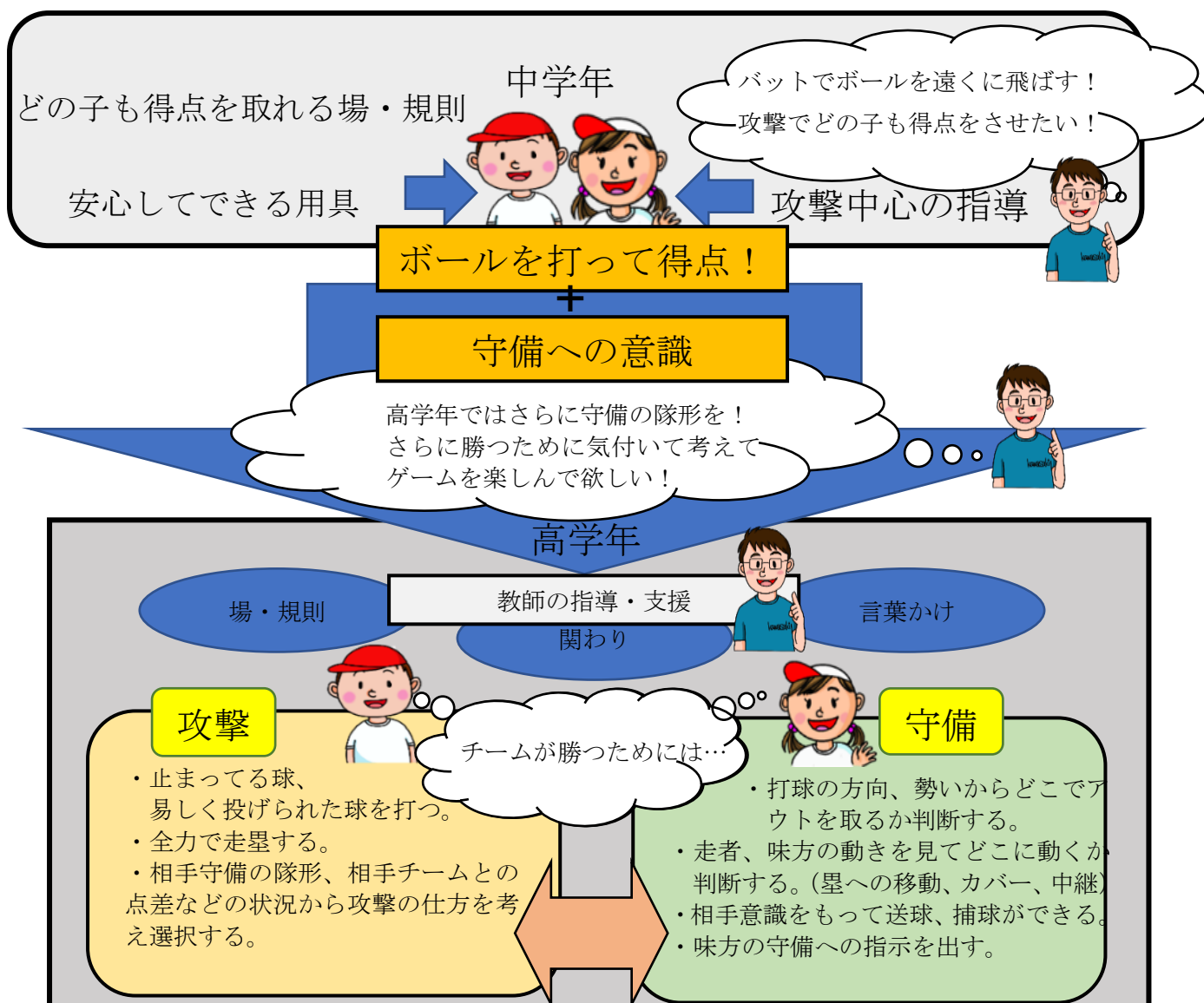
学習の振り返り (今日の学習を振り返って、少しでも成長したこと、気付いたことは?)

今日はなるべく早く帰ることにして、先週の
 ことを考えてボールを投げたり、ボールを取りやすう場所
 所に入っている意識してやりました。そして、前回は
 点差が大きいが、たけい今日は少ない点差で終わる
 事ができました。々が最後なので、学んできた事と
 いかにしてかえりたいです。

① 試合が ② 試合 ③ 試合 ④ 試合 ⑤ 試合 ⑥ 試合 ⑦ 試合 ⑧ 試合 ⑨ 試合 ⑩ 試合 ⑪ 試合 ⑫ 試合 ⑬ 試合 ⑭ 試合 ⑮ 試合 ⑯ 試合 ⑰ 試合 ⑱ 試合 ⑲ 試合 ⑳ 試合 ㉑ 試合 ㉒ 試合 ㉓ 試合 ㉔ 試合 ㉕ 試合 ㉖ 試合 ㉗ 試合 ㉘ 試合 ㉙ 試合 ㉚ 試合 ㉛ 試合 ㉜ 試合 ㉝ 試合 ㉞ 試合 ㉟ 試合 ㊱ 試合 ㊲ 試合 ㊳ 試合 ㊴ 試合 ㊵ 試合 ㊶ 試合 ㊷ 試合 ㊸ 試合 ㊹ 試合 ㊺ 試合 ㊻ 試合 ㊼ 試合 ㊽ 試合 ㊾ 試合 ㊿ 試合	① 試合 ② 試合 ③ 試合 ④ 試合 ⑤ 試合 ⑥ 試合 ⑦ 試合 ⑧ 試合 ⑨ 試合 ⑩ 試合 ⑪ 試合 ⑫ 試合 ⑬ 試合 ⑭ 試合 ⑮ 試合 ⑯ 試合 ⑰ 試合 ⑱ 試合 ⑲ 試合 ⑳ 試合 ㉑ 試合 ㉒ 試合 ㉓ 試合 ㉔ 試合 ㉕ 試合 ㉖ 試合 ㉗ 試合 ㉘ 試合 ㉙ 試合 ㉚ 試合 ㉛ 試合 ㉜ 試合 ㉝ 試合 ㉞ 試合 ㉟ 試合 ㊱ 試合 ㊲ 試合 ㊳ 試合 ㊴ 試合 ㊵ 試合 ㊶ 試合 ㊷ 試合 ㊸ 試合 ㊹ 試合 ㊺ 試合 ㊻ 試合 ㊼ 試合 ㊽ 試合 ㊾ 試合 ㊿ 試合
---	--

☐ 次のめあてを繰り返しているね！
☐ 文量 G000！
☐ 次のめあてが見つかったね！
☐ 動きを詳しく書いてます！
☐ 学習がにつながっているね！

2年間の研究から見たこと



○成果

- ・トラペゾイドティーボールを行うことで中学年、高学年の児童がティーボールの楽しさに触れることができた。
- ・「勝つためにはどうすればよいか？」を問いかけて『気付き』を促していくことで「チームが勝つためにはどうすればよいだろう？」と児童自ら『考え』、「次は〇〇してみよう」と『めあて（活動）』が生まれることでチームとしても個人としても学びを深める様子が見られた。

△課題

- ・単元前半で基本的な技能を身に付けることができるように、指導やポイントの提示をしてきたが、その技能を身に付ける良さへの気付き、身に付けられるようなポイントの焦点化を行うことでさらに思考判断が深まったのではないかな？